

2021年(令和3年)2月16日(火曜日)

言

言

粉末桑茶で血糖値抑制



春に発売予定の粉末桑茶（高知市で）

機能性表示食品 小谷穀粉と高知大開発

茶の製造販売会社「小谷穀粉」（高知市）は、糖の吸収を抑え、食後に血糖値が急上昇するのを緩和する効果が期待できる粉末桑茶を高知大と共同で開発した。今年春にも、機能性表示食品として発売する予定。

桑茶はカフェインが含まれず、飲みやすいと人気がある。共同研究では、桑に含まれる成分「モラノリン」（医薬品名「デオキシノジリマイシン」）に着目。糖の吸収を抑える機能が知られていたため、科学的根拠を整理し、機能性表示食品として消費者庁に届け出、1月下旬に受理された。溶かして飲む粉末にする

ことで、茶葉から抽出するより成分を吸収しやすくした。食事とあわせて摂取すると、「血糖値スパイク」などを緩和できるという。

高知大が開いている「土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐FBC）」の講座を、小谷穀粉の社員が2018年から受講。文献検索や消費者庁への申請方法に助言を受けると、小谷和弘社長は「『健康的なイメージ』に終わらせず、お茶の成分を研究して効能を明らかにし、根拠のある健康食品をつくらせていきたい」と話す。

1-3
6F
2248

2002

0748

3011

ocal/
ochi/

6124

4333